

2026 年 6 月 4 日

受験者各位

二級臨床検査士資格認定試験「微生物学」
主任試験実行委員

二級臨床検査士資格認定試験「微生物学」実技試験内容の一部変更について

記

平素より本試験の運営にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

従来、血清型別試験におけるスライド凝集反応につきましては、発育コロニーを用いて実施しておりましたが、今回より添付文書記載法に準じ、生理食塩液による菌体浮遊液を用いた方法へ変更いたします。

つきましては、例としてサルモネラ免疫血清「生研」（デンカ）添付文書に記載されている O 群別試験の操作方法を抜粋いたしますので、試験勉強の参考としてください。

サルモネラ O 群別試験

(1)培養

検体を寒天培地で好氣的条件下、37℃で一夜(18～24 時間)培養します。

(2)試料の調製法

小試験管に小分けした生理食塩液 0.5mL にマッチ棒の頭 3～5 倍程度の菌体を浮遊して O 群別用試料(生菌)とします。

(3)スライド凝集法

①多価血清

ホワイトマーカーなどでスライドグラスを数区画に分け、区画毎に O 多価血清、O1 多価血清を 1 滴(約 30 μ L)滴加します。試料が自己凝集を起こしていないことを確認するために、1 区画には対照として血清の代わりに生理食塩液を 30 μ L 滴加します。マイクロピペットを用いて試料を 5～10 μ L ずつ血清及び生理食塩液の上方におき、白金線又は白金耳を用いて各々よく混和します。スライドグラスを前後に傾斜させながら 1 分間反応させて凝集の有無を観察します。生理食塩液に凝集が観察されず、多価血清にも凝集が認められない場合は Vi 血清による試験を行います。

②単価血清

多価血清で陽性と判定された場合、その多価血清を構成する単価血清を用い上記と同様の方法で試験します。

サルモネラ免疫血清「生研」（デンカ）添付文書より

以 上